

『交流活動を通して学校や地域においてたくましく生きる児童の育成』

あま市立甚目寺西小学校

1 目的

校訓「明るく やりぬく たくましい子」のもと、豊かな心で人と関わり、互いを尊重し合うことのできる児童の育成をめざし、人と人との「交流」に重点を置いた教育活動を推進します。

2 内容

(1) 多様な交流（児童・地域・国際）の場を通して温かい人間関係づくり

ア わくわく活動（縦割り班活動）

昨年度より始まった高学年による「読み聞かせ」（わくわく読み聞かせ）は、本校の伝統的な活動になりつつあります。この日を迎えるに当たり、6年生は、1年生の目線で本を選び、読み方を工夫して練習していました。そんな6年生の思いは、1年生の子たちにもしっかりと伝わったようで、皆、うれしそうに聞いていました。互いを気遣い、互いの思いを受け止め合い、教室は、温かく和やかな雰囲気に満ちあふれていました。

イ にしっこクリーンキャンペーン

毎年6月には、地域の方々とともに、学校周辺の道路の清掃に取り組んできました。今年度は、『あま市ゴミゼロ運動推進連絡会』の方々にもご協力いただき、保護者や新居屋地区老人会の方々とともに子どもたちの活動を支援してくださいました。1時間ほどの活動でしたが、たくさんの草やゴミを集めて、子どもたちは達成感いっぱいに戻ってきました。これを機会に、地元への愛着と環境美化への意識が高まっていくことをさらに期待しています。



－ 老人会の方々とゴミを片付ける児童 －

ウ スリーハート運動

本校では、毎年、規範意識の高揚と人権モラル向上をめざした「スリーハート運動」に取り組んでいます。これは児童と保護者、地域の方々が知恵を絞った標語の中から、優秀作品を選び、1枚のポスターにまとめたものを、学区の40箇所の公共施設や商業施設等へ掲示する活動です。出来上がったポスターは、5、6年生の児童が、地域の公共施設や民間の商業施設へ出向き、掲示してもらいました。

エ マロニー小学校との交流

3年前より、アメリカ・マロニー小学校との交流活動を進めています。今年

度も、互いの国の特有の文化を紹介し合えるよう、工夫をした作品交換をする
とともに、Skype を利用したテレビ電話を使って、交流を深めました。

(2) 挑戦する土台づくり

ア こんのひとみ出前ライブ

余命3ヵ月との宣告を受けた後も、『命の授業』を
続けてみえた大瀬敏秋先生の生き様を絵本に綴られ
たこんのひとみさんを本校にお招きする機会を得ま
した。こんのさんは絵本の執筆とともに、シンガー
ソングライターとしても活躍中で、この日も子ども
たちのメッセージにメロディーをつけて歌ったり、
東北支援活動を通して自らが学ばれたことを語って下さったりと、命の大切さ
や個性の素晴らしさを訴えかけてくださいました。そんなこんのさんの思いは、
子どもたちの心にしっかりと響き、それぞれに自らの生き方を見つめ直す機会
となりました。



－ こんのひとみ出前ライブ －

イ 外部講師の招聘

外部から講師を招き、温かいふれあいを大切にした学習活動を進めるととも
に、私たち教師の力量向上にもつなげています。

- * 地元老人クラブ（伝承遊び：1年） * 佐藤醤油（醤油造り：3年）
- * カルビー食品（おやつと健康：3年と6年）
- * 雪印乳業（食事の大切さ：1年から3年）
- * ドリームマップ普及協会（将来の夢：4年）
- * 中日新聞地元営業所（新聞づくり：5年）

ウ 現職教育の充実

合唱指導や学習発表会での演技指導、QU検査の分析について、専門講師を
招いて研修を深め、教師の力量向上を図りました。

3 評価

温かい出会いとふれあいを大切にした活動を計画的に積み重ねてきた中で、
規範意識を高め、互いを尊重し合う児童が着実に育ってきています。

4 課題

多様な取組を通して、子どもたちは、互いを気遣い、相手の目線に立つても
のごとを考えることができるようになってきました。こうした姿を一時的なも
のに終わらせず、継続した力、つまり実践力へとつなげていくため、あらゆる
場面において、繰り返し、子どもたちに働きかけていきたいと考えています。